

2017年

第23回

# 共同旗争奪関西選手権

## 中学軟式野球大会

主催 大阪少年軟式野球連盟連合会【ULBB】



共 催 公益社団法人

少年軟式野球国際交流協会【IBA-boys】大阪支部

後 援 内 外 ゴ ム 株 式 会 社

株 式 会 社 共 同 写 真 企 画

# 第23回共同旗争奪関西選手権中学軟式野球大会

## 【大会要項】

- 1 主 催 大阪少年軟式野球連盟連合会【ULBB】
  - 2 共 催 公益社団法人 少年軟式野球国際交流協会【IBA-boys】大阪支部
  - 3 後 援 (株)共同写真企画 内外ゴム(株)
  - 4 大会期日 平成29年3月4日(土)より原則として日曜・祝日。【土曜日もあり】
  - 5 会 場 海老江河川敷グラウンド 川北グラウンド 他・市内グラウンド
  - 6 参加資格 各連盟に所属するマナーの良いチームに限ります。  
(新3年生以下・新1年生2年生はW登録認めます。)
  - 7 大会参加費 1チーム 10,000円 試合当日ご納入下さい。
  - 8 抽 選 会 2月5日(日)代理抽選会で行います。
  - 9 審 判 自チームの試合の当審制でお願い致します。
  - 10 使 用 球 内外ボールB号【主催者で用意します】
  - 11 適用規則 公認野球規則、競技者必携諸規定、ULBB大会規定、並びに会場によりローカルルールを採用します。
  - 12 選手登録 試合当日の交換メンバー表【3通提出】をもって登録とします。
  - 13 そ の 他 雨天時の決行・中止は午前7時に決定する。但し主催者よりの連絡は一切行ないません。各チームにて確認お願い致します。
  - 14 表 彰  
優 勝 表彰状 優勝旗 優勝杯 優勝楯 金メダル15ケ  
準優勝 表彰状 準優勝杯 準優勝楯 銀メダル15ケ  
第3位 表彰状 第3位賞(2チーム) 銅メダル15ケ  
(優勝旗・優勝杯・準優勝杯は持ち回りです。)
- 前年度 優 勝チーム 向日市野球スポーツ少年団  
準優勝チーム 北 豊 中 友 好 会

# ULBB大会規定

2015年7月改定

- 1 規 則 当年度公認野球規則に準ずる。
- 2 試合方法 試合はトーナメント方式で行う。  
但し、試合は7回戦とし、3回以降10点差、5回以降7点差が生じた時は、ワールドゲームとする。
- 3 時間制限 ・試合時間は1時間20分を過ぎて新しいイニングに入らない。決勝戦は1時間40分を過ぎて新しいイニングに入らない。  
・同点の場合は、封筒による抽選を行う。  
・準決勝戦よりタイブレーク方式で行う。  
【註】タイブレーク方式を行う場合は、引き分け時点でのメンバーにて行う。  
打順1番が3塁ランナー、打順2番が1塁ランナーとし、一死で打順3番より開始する。1イニング終了時点で同点の場合は、前イニング終了時の最終打者の前打者が3塁ランナー、最終打者が1塁ランナーとし、一死でその回の正規の打者より開始する。2イニングス戦って再度同点の場合は、抽選で勝敗を決定する。
- 4 使用球 大会使用球は、学童がC号とする。(少年はB号とする。)
- 5 試 合 ・危険防止のため、捕手は捕手用ヘルメット、マスク、レガース、プロテクターを着用し、打者、走者、ベースコーチは共にヘルメットを必ず着用する事。  
但し、ユニフォームを着用すればベンチ入りの指導者がベースコーチとなる事を認める。この場合、ヘルメット着用の義務は無いが、できれば着用する事が望ましい。  
・ベンチへ持ち込みのメガホンは1個とする。  
・監督は、選手と同一のユニホームを着用し、背番号は30番をつける事。  
B、Cクラスについては、28、29、30番のいずれかの背番号をつけること。  
・主将は10番とする。他の指導者は、自チームの帽子を必ず着用する事。  
・試合開始予定時刻30分前に到着し、本部にメンバー表3通を提出する事。  
(メンバー表には、控え選手を必ず記入する事。)  
・試合時間を5分過ぎて来ないチーム、または9人揃わないチームは棄権とする。  
・日没降雨の場合は4回を以て試合成立とする。(中止、決行は審判団の判断とする。)  
・不正チームが発見された時は、その時点より当該チームは、以後の出場は認めない。  
・選手の使用する手袋はベースボール用スポーツ手袋とする。打者に関しては左右を問わない。野手が守備につく場合の使用はグラブをはめている手のみとする。但し、投手の手袋使用は禁止する。  
・投手の使用グラブは白色および灰色の物は禁止とし単一同色の物を使用する事。  
・リストバンドならびにリストガード、リストプロテクターの使用は禁止する。  
・ロージンバックの使用に関しては、出場各チームが用意したロージンバックの使用を許可する。大会本部および審判員は用意しない。使用する状況に備え各チームの責任において用意する事。
- 6 審 判 連合会主催大会(IBA関西選手権を含む)は、連合会より認定を受けた審判員により行う。
- 7 抗 議 ・ストライク、ボール、アウト、セーフに対しての抗議は一切認めない。  
・試合中の抗議は、主将および当該プレイヤーのみとし、抗議は1分以内で処理する事を原則とする。審判団が協議の上決定後の再抗議は認めない。但し、審判団協議がルール上の問題等で、1分以上経過したときはロスタイムを採用する。  
・試合中、監督は選手の交代と告げるためか、非常時以外ベンチを出る事を禁止する。

- 8 ローカル ルール 各グラウンドの事情に依りローカルルールを採用する。特に規制を要する設定ルールは、試合開始に先立ち、両チームの監督、主将に伝達すると共に、グラウンドの本部席に備えるものとする。
- 9 ボーク ボークは一回目から採用する。
- 10 スピード アップ (イ) 作戦タイムは1チーム1試合2回までとし、1回30秒以内とする。  
(ロ) 投手の投球練習は初回及び交替時は7球、その他は3球とする。  
(ハ) 無駄な牽制は慎む事。これらの行為が目に残る場合は厳重に審判が注意する。  
(ニ) 攻守交替の時は、全力疾走で行う事。
- 11 ベンチ ・抽選番号の若いチームを1塁側とし、ベンチには監督を含め指導者4名（スコアラ一含む）及び登録選手20名以外は入れない事。  
・試合中に限らず、ベンチ内での指導者の喫煙およびサングラスの使用を禁止する。  
・応援団の言動、行動にはチームは責任を以て指導する事。また、声援や応援はスポーツマン精神に則り、野次等の個人攻撃は厳禁する。  
・ファールボールは飛んだ方向のベンチが取りに行く事。ただし、バックネット裏は攻撃側が取りに行く事。  
・両チーム試合開始及び終了の挨拶の際は、指導者もベンチ前に立って挨拶する事。
- 12 負傷 主催者は、大会中の選手の負傷、疾病に対し応急処置をする以外は責任を負わない。
- 13 その他 ・雨天時の決行、中止は、午前7時に決定する。ただし、主催者より連絡は一切しないので、各チームはブロック責任者まで問い合わせる事。  
なお、日程の都合上小雨でも強行する場合もある。  
・日程、試合時間の変更は一切認めない。ただし、学校行事のある場合に限り、学校長の証明が必要で1週間前迄に主催者の了解があれば認める。  
・抽選会で決定した事項については、チームに徹底させ厳守する事。  
・万一棄権する時には、当該チームの指導者1名が、必ず試合開始の30分前迄にグラウンド本部へ来て、その旨を報告する事。  
・変化球、かくし球、ラフプレイは禁止、その場合は退場もあり得る。（審判団の判定に従う事。）ただし、少年部については変化球を認める。  
・試合終了後は、ベンチおよび応援席の周囲の吸い殻、ゴミ等の清掃を各チームの責任に於いて行う事。  
・小学生の女子選手は一学年したの試合に参加できる。  
・中学生の女子選手は学童の試合に参加できないが、中学一年生以下で編成されている女子単独チームは六年生の試合に参加できる。
- 14 Cクラス 4年生以下 ・規則は、本大会規定に準ずる。  
ただし、距離は本塁～投手間15メートル、塁間22メートルとする。  
・試合は5回戦としコールドゲームは採用しない。ただし、55分を過ぎて新しいイニングに入らない。決勝戦は1時間10分を過ぎて新しいイニングに入らない。  
・日没、降雨の場合は、3回を以て試合成立とする。（中止、決行は審判団の協議を以って、決定する。）  
・ボークは注意のみとする。ただし、明かにボークでアウトになった場合は、教育的指導の事由に於いて元に戻す。